

# 東日本大震災における公衆衛生の復興活動に関する国際シンポジウム

International Symposium on Public Health Recovery after the Great East Japan Earthquake



震災時  
数千人、数万人の  
健康をあなたは  
守り抜けますか？

## 仙台国際センター

2013年 3月7日(木)

受付 9:00～ 会議開催 9:30～18:00  
意見交換会 18:00～

2013年 3月8日(金)

受付 8:30～ 会議開催 9:00～12:00

定員200名 参加無料・当日申込可  
【日・英同時通訳あり】

### 3月7日 プログラム概要

- 基調講演「自然災害における公衆衛生の復興活動: 原則と課題」  
WHO神戸センター センター所長 Mr. Alex Ross
- プロジェクト報告「東日本大震災における公衆衛生の復興活動(報告書)」「復興活動の映像記録」  
東北大学医学系研究科 押谷仁教授、平野かよ子教授
- パネルディスカッション1「東日本大震災の経験: 震災時の公衆衛生の対応」  
司会: 辻一郎教授 東北大学医学系研究科 パネリスト: 被災自治体(宮城県)、支援自治体(宮城県外)
- パネルディスカッション2「アジア各国の震災復興の経験」  
司会: 押谷仁教授 東北大学医学系研究科 パネリスト(予定): フィリピン、タイ、インドネシア、スリランカ

### 3月8日 プログラム概要

- パネルディスカッション3「震災復興時の公衆衛生活動における保健師の役割」  
司会: 平野かよ子教授 東北大学医学系研究科 パネリスト(予定): 被災自治体(福島県、宮城県)、中国、香港

主催: 東北大学医学系研究科地域保健支援センター 後援: 宮城県・WHO西太平洋事務局・笹川平和財団  
申し込み先 および 問い合わせ先: 東北大学医学系研究科微生物学分野 事務局  
Email: [eqrecover@virology.med.tohoku.ac.jp](mailto:eqrecover@virology.med.tohoku.ac.jp) TEL: 022-717-8210 FAX: 022-717-8212  
Web(入カフォーム): <http://www.ch-center.med.tohoku.ac.jp/symposium12f>





## 公衆衛生の復興に向けて

災害対策の中で「復興」は最も理解の遅れている分野です。災害発生後の急性期から復興期にかけて住民の健康や生活基盤を支える公衆衛生分野の果たすべき機能や、その復興のあり方については、系統立った記録や分析等は我が国ではほとんど行われてきておらず、また諸外国に対して震災の経験や教訓を積極的に発信し共有するというも行われてきませんでした。こうした背景のもと、東北大学医学系研究科は世界保健機関西太平洋事務局と協定を結び、また笹川平和財団から協力を得ながら、宮城県石巻市、その中でも特に支援が必要とされた沿岸部の雄勝と牡鹿の2つの地区において、保健師を中心とした被災地の公衆衛生の活動、復興の過程を記録し、教訓事項をとりまとめてきました。

このたび、東北大学医学系研究科は「東日本大震災における公衆衛生の復興活動(報告書)」を上梓するにあたり、世界保健機関、笹川平和財団と協力して「東日本大震災における公衆衛生の復興活動に関する国際シンポジウム」を開催いたします。東日本大震災が我々に突きつけた公衆衛生に関する様々な課題や教訓を皆様と共有し、近年災害が多発しているアジア諸国の公衆衛生の専門家も交えて、災害時における公衆衛生のあり方、災害後の公衆衛生の復興計画や実施、地域住民の健康を守る保健師等の役割、アジア地域における連携等についても議論を深めていきたいと考えています。

## 仙台国際センター

宮城県仙台市青葉区青葉山  
[http://www.sira.or.jp/icenter/access\\_transportation.html](http://www.sira.or.jp/icenter/access_transportation.html)

### ■ 仙台国際センターまでの交通アクセス

仙台駅から 市営バス 仙台駅前西口バスプール9番乗り場  
 博物館・国際センター前下車 徒歩1分  
 バス移動 約10分 料金180円  
 タクシー 約7分 徒歩 約30分

仙台宮城 ICから 仙台西道路経由 約10分  
 [仙台城] 方面の標識に従ってご走行ください。

仙台国際センターの駐車場(有料)は96台(うち身障者用2台)になります。  
 その他近くには一般の有料駐車場として青葉山観光駐車場があります



## ■ 参加申込書

### 東日本大震災における公衆衛生の復興活動に関する国際シンポジウム

International Symposium on Public Health Recovery after the Great East Japan Earthquake

FAX送信先 022-717-8212

#### ■ 申し込み先・問い合わせ先

東北大学医学系研究科微生物学分野事務局  
 Email: eqrecover@virology.med.tohoku.ac.jp  
 TEL: 022-717-8210 FAX: 022-717-8212  
 Web(入カフォーム)  
<http://www.ch-center.med.tohoku.ac.jp/symposium12f>

ご参加されるものに ✓ をつけて下さい。

3月7日(木)  シンポジウム 1日目(9:30~18:00)  意見交換会(18:00~)  
 3月8日(金)  シンポジウム 2日目(9:00~12:00)

ふりがな

お名前:

ご所属:

ご連絡先

TEL:

EMAIL:

●2月22日(金)までにシンポジウムのお申し込みをされた方には、当日の昼食をご用意させていただきます。●意見交換会は、仙台国際センター1階レストラン「ラ・フォーレ」で行います。会費無料、軽食あり。

※ 個人情報の取り扱いについて皆様からお預かり頂いた個人情報は、プライバシー保護に十分留意し、シンポジウムの目的以外に使用、第三者に提供することはありません。